

議事録

項目	第7回 水前寺江津湖公園利活用・保全推進協議会
協議日時	令和2年(2020年)2月18日(火) 10:00~
協議場所	熊本市役所 本庁舎 14階大ホール
協議者 (敬称略)	<p>東海大学 現代教養センター(九州教養教育センター) 特任教授 市川 勉(会長)</p> <p>熊本大学大学院 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授 星野 裕司(副会長)</p> <p>熊本大学大学院 先端科学研究部(工学系)環境保全分野 准教授 皆川 朋子</p> <p>九州大学大学院 芸術工学研究院 環境デザイン部門 准教授 藤田 直子</p> <p>公益財団法人 熊本市美術文化振興財団 理事 葉山 耕司(欠席)</p> <p>公益財団法人 地方経済総合研究所 専務理事 木村 正明</p> <p>キリンビール株式会社 九州統括本部 南部九州支社 熊本支店 業務部 担当部長 宮脇 雅人</p> <p>株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング シニアマネージャー 若松 隆一</p> <p>熊本県ボート協会 会長 三井 宜之</p> <p>協業組合江津湖観光 理事 江藤 啓貴</p> <p>江津湖貸舟協同組合 理事 川上 二矢(欠席)</p> <p>熊本県立図書館 館長 豊田 祐一</p> <p>一般社団法人 熊本市造園建設業協会 会長 吉村 昌洋</p> <p>一般財団法人 熊本市社会教育振興事業団 理事長 中村 英文</p> <p>水前寺江津湖公園愛護会 会長 多神田 喜代太(欠席)</p> <p>水前寺江津湖(体育館跡)公園愛護会 会長 松尾 直樹</p> <p>水前寺江津湖(児童)公園愛護会 会長 小崎 正道</p> <p>出水校区自治協議会 会長 渡辺 幸夫</p> <p>砂取校区自治協議会 会長代行 今井 英雄</p> <p>出水南校区自治協議会 会長 山口 道敏</p> <p>健軍校区自治協議会 会長 村上 徹郎</p> <p>画図校区自治協議会 会長 内藤 征夫</p> <p>泉ヶ丘校区自治協議会 会長 永田 俊洋</p> <p>若葉校区自治協議会 会長 古閑 勝徳(欠席)</p> <p>秋津校区自治協議会 会長 藤山 英美(欠席)</p> <p>水前寺活性化プロジェクトチーム 代表 永野 陽子</p>

熊本市子育て支援ネットワーク連絡会
会長 西原 明優
熊本県文化協会
副会長 岩岡 中正（欠席）
熊本記念植物採集会
副会長 奥村 智治
熊本野生生物研究会
事務局企画担当 歌岡 宏信（欠席）
自然観察指導員熊本県連絡会
事務局長 田畑 清霧
日本野鳥の会熊本県支部
副支部長 坂梨 仁彦
水と緑ワーキンググループ
代表 大住 和子
事務局・関係課

<議題>

- (1) 前回会議の振り返り
- (2) パブリックコメントの結果について
- (3) 今後のスケジュール

【議事録】

- 市川でございます。それでは本日の協議会では、先ほど土木部長の挨拶にもありましたように、計画の公表に向けた確認という作業になるかと思えます。昨年末から行われましたパブリックコメント多くの意見が寄せられました。このご意見を踏まえて、最終案として案がまとめられておりますので、皆さんの審議をよろしくお願い致します。早速議事に入りますが、議題にあります前回会議の振り返り、それから2番目のパブリックコメントの結果について、そして3番目の今後のスケジュール、これらの説明をまとめて事務局よりお願いいたします。（市川会長）

【事務局説明】

～議題（1）（2）（3）説明～

- 事務局より一通りの説明がありました。この説明につきまして、また、本日出ている案につきまして、皆さん委員の皆さんからのご意見ご質問をお願い致します。何かご質問ございますか。（市川会長）
- この冊子の13ページあるいは21ページに関わるかと思うんですけど、スイゼンジノリの発生地なんですけど、あれは国の天然記念物だと思うんですけど、あの発生地を地図に明示とかできないんですかね。（坂梨委員）
- 現状入っていませんので、地図に入れさせていただきます。（事務局）

- 天然記念物の区域があるんですかね。(坂梨委員)
- 保護区ということでエリアが設定されています。(事務局)
- 一帯ですか。あるいは、面積か何かで限られているのか。ちょっと知らないものからすみません。(坂梨委員)
- 区域で指定はされていたかと思しますので、きちんと確認した上で、地図に明記をさせて頂きたいと思います。(事務局)
- その他ありましたらお願いします。(市川会長)
- 星野です。すごく基本的なところなんですけど、これ表紙に熊本市とか入れないのですか。これ計画の発行者は熊本市ですよ。確認で、やっぱりそういうのはした方がよいのかなというのと、あと、例えば市長とかあるいは市川先生とかの“はじめに”とかいらぬのかなと思って。やっぱりこう熱い思いを語ってもらった方が、計画としての重みが出るのかな。改めてこうやって見てた時に思ったんですけど。そこら辺はどうですか。まず、少なくとも発行者が公園課じゃなくて熊本市なんだみたいなのは当然いると思えますけれども、はじめにとかいらぬのかなと思って。(星野副会長)
- 事務局でございます。先生ご指摘の通りでございます。発行年月日も今ちょっとわかりませんので、表紙のほうに発行年月を令和2年3月及び熊本市を記載させて頂きます。もう1点のはじめになんですが、市川先生、うちの市長ともありますが、前向きに検討をさせて頂きたいと思います。よろしく願いいたします。(事務局)
- 細かいことです。2ページの概要があるんですけども、右側に写真は載っているんですけども、市内のどこに位置しているのかいるんじゃないかなと思えます。皆さんご存じで、当然のことは当然なんですけれども、計画なので地図でちゃんと図示はした方がよいんじゃないかなと。また小さいことで申し訳ないんですけど、スイゼンシノリもそうだと思って、17ページの種名のところで、魚類についてなんですけれども、セボシタビラが確認されたということでお聞きしましたが、順番をタナゴはタナゴのところに入れた方が、セボシタビラがスナヤツメの後になってしまっているの、まとめて書いた方がよいのかなというのと、18ページは江津湖に生息する市指定外来種って3種しか写真がないので。6種ですよ。なので写真があった方がよいのかなって。言葉では書いてありますけれども、せつかなので全部認識していただいたほうが多分良いと思しますので掲載して頂きたいなと思えます。(皆川委員)
- スペース空いてますので。ここ入れちゃえばいい。(市川会長)

- よろしくお願ひいたします。(皆川委員)
- ご意見ありがとうございます。まず2ページの市内のどこに位置しているか、確かに市内の方は分かれるかもしれないですけど、全体概要もこの2ページの下の方に載せさせて頂きたいと思います。(事務局)
- この写真の右上のスペースが空いているでしょ。そのところに熊本市の全域図を出して、江津湖がどこかというのを出しとけばいいんじゃないですかね。2ページの下の方のスペースの空いているところでもいいですけど。(市川会長)
- そこは、市全域の中でどこに位置するかは、付けていきたいと思います。また、17ページで頂きました。セボシタビラの書く順番についても持ち帰り、今後またレットデータブックも更新されると伺っておりますので、そことあわせて検討させて頂きたいと思います。また、19ページの指定外来魚の写真についても、なるべくこの6種全部載せられるようにしていきたいと思います。(事務局)
- 今の17ページですけど、セボシタビラに限らずですね、植物も配列の順序っていうのがあるので、その全部の分類分ですね、その配列の順々に従って並べて頂くといいかと思います。(坂梨委員)
- そこも含めて、こちらの表記を修正させて頂きます。(事務局)
- 小っちゃいことで申し訳ないんですけど、15ページのヒラモの写真があるんですけども、これご提供して頂いた方がいらっちゃって、その方には申し訳ないんですけどちょっと見にくいかなと思って。ヒラモが分かるような写真のほうが良いかなと思って。多分皆さんお持ちだと思うんで、差し替えられたが良いのかな。最後なので。(皆川委員)
- そこも先ほどの写真とあわせて検討します。(事務局)
- ヒメバイカモも群生しているやつが良いんですけど。(市川会長)
- そうなんですよ。多分、大住さんとかヒメバイカモの良い写真がお持ちだと思うので。(皆川委員)
- 先ほどの、江津湖が熊本市の中でどこに位置するかというお話をお聞きして、確かにと思いながらさらに思った部分なのですが、例えば39ページの水環境で、江津湖に来ている水は上流エリアも関わるよということで示してあります。イメージ図は分かるんですけど、実際にどういう市町村で降った雨が江津湖に来ているのか。阿蘇であっ

たり大津であったり様々な部分があるかと思いますが、文章にはちょこちょこあるんですけど、イメージがわかず熊本市の中だけの話になりがちな気が致しますので、そういう図がどこかあるかと思いますが、どこかに入れて頂けると江津湖と周りの関わりがより具体的にイメージできるのかなと思います。よろしくお願い致します。(田畑委員)

- ご意見ありがとうございます。広域で確かに上流域の阿蘇辺りから熊本の地下水は来ておりますので、そこが分かるようなもの。これも一つのイメージ図ではあるんですけど、探してみたいと思います。(事務局)
- それに関連して、私も同じことを思ったんですけど、それが後ろの方なんですよね、ページ数でいくと。その図がですね。一つ載っているんですけど。ぜひ最初のほうの2ページぐらいに、位置図と一緒に入れて頂いた方が、流域という中で江津湖という位置づけが高まると思う。最初に載っていることが重要だと思うんですよね。よろしくお願いします。(皆川委員)
- 私ボート協会として、下江津湖の方を利用させてもらっています。試合はあまりやっていませんけど、練習はよく利用させてもらっています。江津湖でボートを漕ぎ始めたのは、おそらく熊本ではそういうスポーツが入ってきて本格的にここで根付いたのは、ボートではないかと思っています。当然、夏目漱石もここで部長をやっていますね漕いでおりました。漱石がボートを実際に漕いだ様子をちゃんと記録に残っているのは、江津湖しかないんです。非常に貴重なんです。熊本の方は、皆どうしたものか、夏目漱石にあまり関心がないんですけど、松山行ったら全然違う。松山は1年しかいなかったんですよ。それでもですね、高校生から一般の方から皆漱石漱石と言っている。熊本には4年近くもおってですね、しかも江津湖でボートを漕いでですね、漕いだ様子もあまり紹介されていなかったんですけど、今回私は漱石がこういう江津湖でボートを漕いだ様子をちゃんと書きましてですね。なぜ今まで書かなかったのかといとなかなかボートのことを知らない人がおるんで、イメージがわからないから文章に載せれないのですよ。私は、長いことボートをやっていますので。明治時代のボートになりますけど、どういうもんだったのか分かるから、それで書いたんですけど、これは、非常に関心を持っておる人も多いと思うんですよね、ものすごく。漱石と言ったらどうしてもスポーツとはあまり関心がなくて、いつも熊本でも写真があるのはしかめっ面してですね、面白くないような顔ばかりしている。ただ、そんなことないよ、ボートを漕いだときは楽しく漕いでいるんだと思います。私も今でもやっぱり楽しいんですよボートってね。ですから、そういうことを最近他の人にも漱石のことを聞いたらスポーツと縁がなくて難しいことばかりでと、実際はそうじゃなくて、楽しいことは楽しくしてやったんだというようなこととして、ようやく言うようになってきているんで、そういう面では、この江津湖のところで繰り広げられた、実際にここでレースをやって、その後の水面だけですですけどね。残ったんですよ水域は。

ですから、そういうことも少し書いた方が良くないかなと思います。熊本市の人は関心がないのかもしれませんが、他所の県の人はそのことに対しては、非常に関心をもって、また江津湖がそういうものをきちんと残しているということをごすね、評価してくれるんじゃないかというふうに思います。色々な植物とかも大切ですけど、そういう漱石とかをもうちょっとクローズアップして頂いた方が、プラスになるんじゃないかと思います。私どもは今でも漱石が漕いできた水域でボートをやっていますので、今からもずっとやっていく予定ですので、そういうのも加えて、せっかくの機会ですからね。やって頂けたらというふうに思います。ちょっと長くなりましたので以上です。(三井委員)

- 今のご意見は、例えば江津湖レガッタとかはこの中に入れてもいいんじゃないんですか。下江津湖で大会やっているでしょ。(市川会長)
- 2022年から緑化フェアですか。それを記念して、ちょうど4月に江津湖レガッタやっていますので、その時は、当然全国都市緑化フェア記念江津湖レガッタというふうなもので、開催をしようというふうに思っています。もともと江津湖レガッタというのは、熊日さんとかがですね、グリーンクリーンクマモトというキャンペーンをやられたことがあるんです。覚えておられる方もいると思うんですけど、もう30年から40年前にですね、その時に発足したものですから、それを今も続けておりますから、そういう面では、緑化フェア記念レガッタをやりますんで、その時にこれを見て、当然その領域で夏目漱石もこういう歴史ある所であるということも、もういっぺん再認という意味でもいいかと思えます。当然やろうと思えます。(三井委員)
- ご意見ありがとうございます。確かに三井委員おっしゃられますように、夏目漱石が特に江津湖を愛しまして、多くの俳句を、江津湖を題材にしたものが残っているということでございます。ただ、それがあまり市民の方に知られていないというのは確かなところであると思えます。今ご意見を伺いながら考えましたのは、前段のほうで、昔ながらの江津競艇のところの写真だとか舟遊びを楽しむだとか掲載されている所がございますので、その箇所ですね、コラム的に文豪夏目漱石が愛した江津湖というところで、追記をさせて頂ければと思います。ただ、その辺の中身等々については、県立図書館さんでありますとか、色々お詳しい方々にご協力を頂きながら、記載をさせて頂ければと思います。(事務局)
- 五高記念館に行かれますと、江津湖で開催していたのを、明治時代はもうあまり写真がないですけど、大正時代の市民がずっとみんな応援団が出て、市民が群がっているボートレースの様子の写真がですね、ちゃんと残っていますんでですね。せっかくですから、ここにずっと写真があるんだけど、これ全部川舟みたいなのが浮かんでいるんですけど、そういう写真も入れられたらどうですか。大正のはじめ位だったらきれいな写真がありますのでですね。それをはじめのところに随分写真がありますね、江

津湖の。その下江津湖のところで実際にレースをやっている様子を写した写真がありますんでですね。それを載せられたらどうかと思いますけどね。(三井委員)

- そういう歴史的な写真の提供もしてくれるんですか。(市川会長)
- 五高記念館に言えば提供してくれると思います。(三井委員)
- ありがとうございます。熊大のほうにですね、記念館に一度お話しをさせて頂きまして、参考にさせていただければと思います。(事務局)
- その他にどうぞ。(市川会長)
- 先ほどの江津湖の水がどこからきていたかの分の追加になるんですけど、地下水として江津湖にくる水がどこからきているかということが大事で、そこを当然お願いしたいのですが、表層水の表の水の分、どこのエリアから江津湖に流れ込んできているのか。江津湖に流れ込む小さい川もございますので、熊本市内の中でどこから来ているのかという部分と、江津湖から出る水がどこに流れているのか。これは、生きものの移動のつながりにも大きく影響してきますし、問題になっている外来生物が、江津湖に増えて広がっちゃうというルートにもなっているという状況でございますので、最終的には増えすぎた水草が有明海までいって漁業と問題がってということも実際に起きておりますし、水がどこまで繋がっているかということも地図として表示して頂けると、市民の方がうちも江津湖から遠いけど関係あるんだねとご理解いただけるかと思いますので、ご検討いただければと思います。よろしく申し上げます。(田畑委員)
- はい。ご意見ありがとうございます。そちらの方も検討させていただきたいというふうに思います。(事務局)
- 39 ページ以降の基本方針の中に、アイコンですかね、3 番 6 番 14 番とあって、文字が書いてあるんですけど、私には読めないんですけど、印刷が良くなると見えるのか、あるいはフォントをもうちょっと大きくすることが可能なのか、同じのが 42 ページの図 3-8 のこの図も、ちゃんとした印刷なら読めるのか、ちょっと分からないのですが、そこら辺を検討して頂けたらありがたいなと思います。(坂梨委員)
- 見やすいような形で修正させていただきます。(事務局)
- それと、40 ページの繁茂するボタンウキクサは(外来生物)か何か入れたが良いんじゃないんですかね。キタミソウとかは在来生物で入っているんですけど、ボタンウキクサが何か分からないというふうに思います。(坂梨委員)

- そちらも同じように括弧書きで追記をしたいと思います。(事務局)
- よろしいですか。その他ご意見ございますか。(市川会長)
- 作成お疲れ様でした。全体を見せて頂いて、見やすい写真が対応された資料になっていると思いました。4 ページの 1-2 の公園の変遷というところなんですけど、実際はこちらには公園の変遷がきちんと書かれていないのではないのかなという指摘です。まず、公園の変遷と書くのであれば、その公園ができる以前はどうであったか、それからいつどういうふうにして公園ができて、どういう変化を遂げながら現在に至っているのかということが、冒頭に文章として書かれて、初めてこの章が 1-2 公園の変遷という内容になると思いますが、現状ではそういう記載がないということが気になると思います。古地図の下に、江津湖に架かる橋が通ってあるという説明が書いてありますけれど、文章としては、これだけを以って公園の変遷と言っている所には少し違和感がありますので、構成なり内容なり、あるいは、公園の変遷というタイトルを変えたりなどの工夫をされれば良いのではないのかなと思います。助言としては 2 ページですとか、あるいは 37 ページ辺りに江津湖の特徴だとか、いつどうなったかということが記載されておりますので、そういうところを利用しながら作文をしていくと、公園の変遷の最初のところの冒頭の文章になるんじゃないかなと思いました。この変遷という所であれば、一つ一つの写真にこれがいつ頃の写真好、図の 1-3 は大正 10 年頃と書いてありますが、それ以降の絵葉書の写真には、これがいつ頃のものの記載かというのがありませんので、この写真や絵葉書はいつのものを表しているのかというの、それぞれの図、つまり 1-3 から 1-11 まで全てに年代を付けることが、よいのではないかなと思いました。もう一つは、西暦と和暦の表記が何らかのルールに則って、ここでは和暦を使っているけれども、ここでは西暦を使っているというものが、定義というかそういうものに則って行われていれば違和感はないんですけど、ある所では和暦が使われていて、例えば 15 ページですと西暦の後ろに(和暦)が載っていますし、例えば 53 ページだと西暦だけが載っているというようなことがありますので、こちらは全体を通して統一をするか、この部分については和暦にしますというような、何かのルールに基づいてそういう使い分けをなされた方がよいのではないかなと思いました。以上です。(藤田委員)
- ご意見ありがとうございます。まず、一つ目の 1-2 のところですね。公園の変遷というタイトルと中身が合っていないところですが、確かにおっしゃる通りでございますので、そこに作文するのかタイトルを変更するのか、もう一度事務局で検討させていただきます。また、絵葉書の年代についてですけれども、今確実にわかる部分だけは 1-3 のとおり記載させて頂いております。他のももう一度確認をさせて頂き、表記の統一を図りたいなというふうに思っています。また、和暦西暦がおっしゃる通り混在していますので、その表記については統一させていただきます。(事務局)

●よろしいですか。その他に何かございますでしょうか。非常に多くのご意見ありがとうございました。事務局では今あったご意見を基に、最終的な計画を作成して頂ければと思います。その他ご意見ございませんか。よろしいですか。ないようですので、これで協議会としては水前寺江津湖利活用・保全計画（案）については、原案若干修正をお願いしますが、承認致すということでよろしゅうございますでしょうか。では、拍手でもってお願い致します。（拍手）

本日頂きました修正等につきましては、事務局にて責任をもって対処いたしますとともに、私の方で適宜確認をしていくという形をとりたいと思いますので宜しくお願い致します。ということで、以上で本日の議事は全て終了致しました。進行を事務局お返しします。（市川会長）

以上